

# げんき広場

GENKI HIROBA

NO. 70  
平成30年10月発行

◎編集・発行 長崎県教育庁総務課 〒850-8570 長崎市尾上町3番1号 TEL095-894-3314(ダイヤルイン)

長崎県教育委員会

検索

## 新しい学習指導要領が スタートします。

未来に向かって学校が変わります。

「学習指導要領」とは、全国どこで教育を受けても一定の水準を確保できるようにするため、文部科学省が、学校で指導する内容等の基準として定めたものです。およそ10年ごとに内容が見直されます。新しい学習指導要領の内容は、本年度から学校に徐々に導入され、小学校では2020年度、中学校では2021年度から全面的に新学習指導要領による教育が始まります。高等学校では、2022年度から年次進行で導入されます。

### 2030年以降の未来社会に向けて

新学習指導要領は、今の子どもたちが社会に出て活躍する2030年以降の未来社会を想定して作成されました。近年、情報化やグローバル化といった社会の変化が、人間の予測を超えて進むようになっています。今後も、さらに社会の変化は加速度を増し、子どもたちは、複雑で予測困難な時代を生きていくことになるでしょう。このような時代を生きる子どもたちだからこそ、様々な変化を前向きに受け止め、未来をつくりあげていくことのできる力をはぐくむ教育が求められています。

新しい時代の教育へ移行するために、現在、学校では、様々な準備を進めているところです。学校が実現をめざす新学習指導要領の小中学校における特徴的な内容を紹介します。

#### 社会に開かれた教育課程の実現

教育課程とは、学校で実施する教育の目標や内容、その順序等の計画です。この計画を実施する上で、「これからの時代に必要な力とは何か」という目標を学校と社会が共有し、子どもたちを共にはぐくむ教育をめざします。キーワードは、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」です。



地域とともにある学校づくりを目指す  
五島市立岐宿小学校

#### 主体的・対話的で深い学びの実現

未来社会を切り拓く力を子どもたちが身に付けるために、学校では、より質の高い授業をめざした取組を学校全体で進めていきます。授業づくりのキーワードは、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」です。



算数科で主体的・対話的で深い学びに取り組む  
壱岐市立鯨伏小学校

#### 外国語教育の早期化・教科化・高度化

未来社会において、外国語を使って、多様な人々とコミュニケーションを図ることができるようにするため、外国語教育の充実を図ります。キーワードは、**早期化・教科化・高度化**です。

- 早期化：小学校中学年に「外国語活動」を導入
- 教科化：小学校高学年に「外国語科(教科)」を導入
- 高度化：中学校の授業を英語で行うことを基本とする等



外国語教育の充実を目指す  
南島原市立口之津小学校

#### 特別の教科 道徳

「道徳の時間」が、「道徳科(特別の教科)」として、小学校では本年度から、中学校では、平成31年度からスタートします。教科になったことにより、道徳の教科書が配布されます。道徳科がめざすのは、答えが一つではない問題を自分の問題ととらえ、その問題と向き合っていく人間を育てることです。キーワードは、「**考え、議論する道徳**」です。



「考え、議論する道徳」に取り組む  
西海市立大瀬戸中学校



# 広がりをもせる高等学校の“ふるさと教育”

問い合わせ  
県教育庁高校教育課  
TEL 095-894-3354

郷土への誇りや愛着を育む、いわゆる「ふるさと教育」については、これまでも様々な形で取り組んできました。最近では、地方創生型の探究学習が、中五島高校や五島高校など離島部の学校においてみられるようになりました。現在ではこれらの取組が長崎東高校など都市部の学校にまで広がりをみせています。

また、地方創生型の探究学習だけでなく、五島海陽高校や島原農業高校、諫早農業高校等における地元農産物を活用した商品開発等の取組も、ふるさと教育の一環として推進してきました。

平成30年度はこれまでの取組を

さらにもう一步進めて、「郷土に貢献したい」「郷土の課題を自ら解決したい」といった生徒の意欲を喚起し、地域を担う人材を育成するために『ふるさとの未来を担う高校生育成事業』を新規事業として立ち上げ、小浜、長崎工業、鹿町工業、諫早商業、五島海陽、島原翔南の6校を研究指定校とし、これらの6校を含め、平成32年度までの3カ年で合計18校を指定する予定です。

また、平成33年度(2021年度)までに全県立高校でふるさと教育にかかる年間指導計画等を作成し、地域の発展に貢献できる若者の育成を推進してまいります。

## 地元農産物を活用した商品開発

商品開発に取り組む五島海陽高校の生徒(五島海陽高校)



五島海陽高校では、大手製パン会社と連携し、本県特産のジャガイモ(生産量全国2位)を使用した商品開発に取り組んでいます。

池松教育長への商品報告会後の記念撮影(諫早農業高校)



諫早農業高校では、本県特産品でありながら、規格外として処理されていた枇杷と、同じく県産品であるカステラをコラボレーションさせ、「びわかステラ」を地元企業とともに開発し、商品化しました。

## 地方創生型の探究学習

「パブリックワーク」発表会  
(中五島高校)



「バラモンプラン」発表会  
(五島高校)



中五島高校では「パブリックワーク」、五島高校では「バラモンプラン」と呼ばれる探究学習に取り組んでいます。フィールドワークや地元関係機関との連携等を通じて、地域が抱える課題に生徒自らが気づき、その解決策を具体的に提案しています。

県との連携による「地方創生型探究活動」発表会(長崎東高校)



長崎東高校では、県の政策企画課等と連携し、県庁各課や関係団体への取材、アンケート調査などをもとに、各班ごとに長崎の未来図を描き、池松教育長など県の幹部職員等を前に政策提案型の発表を行っています。



# 平成31年度に3つの高校において学科を新設します。

問い合わせ  
県教育庁総務課  
県立学校改革推進室  
TEL 095-894-3317

## 対馬高校 国際文化交流科

「国際文化交流科」では、韓国人講師による少人数指導や、韓国語や対馬・韓国に関する学びを充実させ、引き続き離島留学生も受け入れます。卒業後の進路として、韓国の大学及び韓国語が学べる国内の大学への進学や、韓国語をいかした観光関連企業や市役所等の公務員への就職を目指します。

本学科では、韓国の大学での語学研修やホームステイなどもあり、語学力と国際的な感覚を養うことができます。また、語学学習への積極的な取組により、韓国語能力検定で、最高級である6級を在学中に取得することもできます。



釜山語学研修

## 口加高校 福祉科

福祉の専門的な知識と技術を身につけ、国家資格である「介護福祉士」の資格取得を目指す福祉科が、県内の公立高校では初めて設置されます。

口加高校福祉科は、「福祉に関する深い知識と確かな技術、『福祉マインド(福祉のこころ)』を持ち、ふるさとを想い、介護福祉士取得を通して個人・地域・社会のニーズに幅広く対応でき、次代のリーダーとなる生徒」の育成を目指します。

また、介護福祉士を取得するルートの中で、福祉系高校が最も早い段階で国家試験を受験できます。口加高校は、この福祉系高校に該当します。



高齢者施設でのふれあい体験

## 小浜高校 総合ビジネス科

「総合ビジネス科」では、従来以上に商業科目の学習を強化し、ビジネスに関連する知識やスキルについて専門的に学びます。

2年次では、「情報ビジネスコース」と「会計ビジネスコース」の2コースから選択できるようにします。

「情報ビジネスコース」では、ICTスキルを、「会計ビジネスコース」では、会計スキル(簿記・電卓等)を高めます。両コースとも高度な資格を取得し、それらをいかした就職、4年制大学等への進学も目指します。

また、国際化の進展に対応し、「韓国語」の授業を開設して、韓国語能力検定3級(日常生活で韓国語を自在に操れるレベル)取得を目指します。



情報処理の授業風景

詳しくは各学校のHP、又は県教育委員会HPにて [ハイスクールガイド](#)



# 長崎県の子どもたちの道徳性や社会のルールを守るうとする 規範意識について調査をしました

- 本県の子どもたちの健やかな成長と、学校・家庭・地域の教育力の向上を図ることを目的として、「長崎県児童生徒の社会性・規範意識に関する調査研究」に取り組み、その結果をまとめました。
- 「本県児童生徒の規範意識は良好であること」、特に「中・高校生の規範意識が改善傾向にあること」など、学校、家庭及び地域の取組の成果が見られました。
- 今後の課題としては、メールやSNSへの関わり方などが挙げられます。

## 9つの特徴



Point 1

規範意識については、小学生は高い水準を維持し、中学生・高校生は改善傾向にある

Point 2

非行は悪いと思っているが、その行為を見て友達に「注意する」子どもは、小学生・中学生・高校生となるにつれて減少する

Point 3

法的規制のあるなしによって「悪い」という意識の程度が異なる傾向がある

Point 4

小学生・中学生・高校生ともに、いじめはよくないという意識は高いが、いじめを見ても「気にならない」子どもが約3%いる

Point 5

いじめを見ても「何も言わない」子どもが、小学生・中学生・高校生となるにつれて増加する

Point 6

メール・SNSを利用している子どもは、小学生41.5%、中学生62.1%、高校生93.4%である。そのうち、見ず知らずの人とメール・SNSのやり取りをした子どもは、小学生8.5%、中学生29.7%、高校生52.0%である

Point 7

見ず知らずの人とメール・SNSをした子どものうち、嫌な（怖い）経験をした子どもが20%以上いる

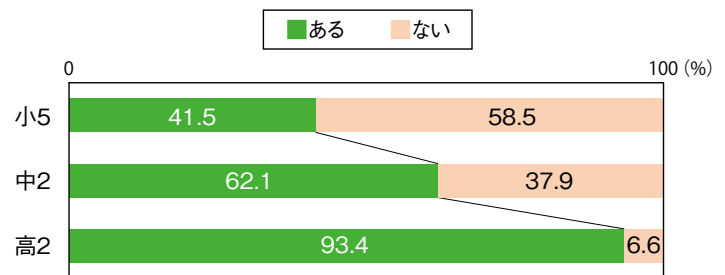
Point 8

家の人のすばらしさを「家族との関わり」に見出している子どもが多いが、「特にない」が約9%いる

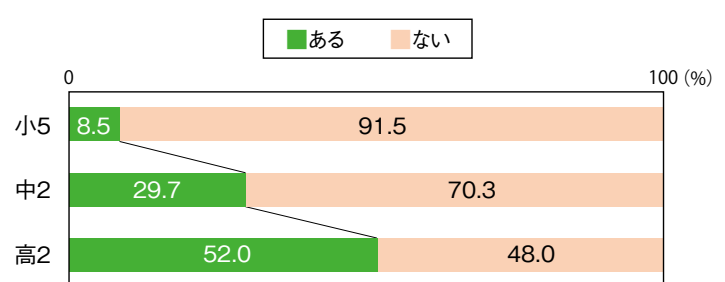
Point 9

子どもも大人も、「家族や家庭を大事にした生き方」を希望している

メール・SNSのやり取りの経験



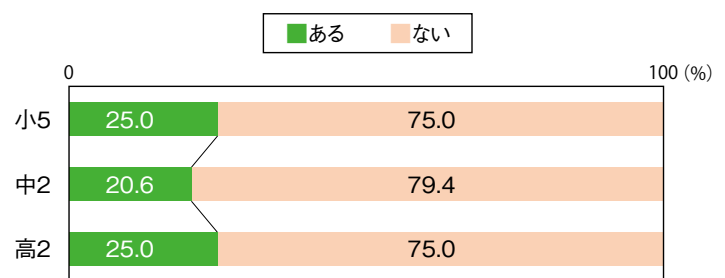
見ず知らずの人とのメール・SNSのやり取りの経験



見ず知らずの人とメールなどのやり取りをした児童生徒に聞きました。



メール・SNSで嫌なことや怖いことがあった経験



## これからの学校・家庭・地域などの取組について(例)



学校・家庭・地域一体となった次のような取組が求められます！

### ●学校では次のような取組を進めましょう

- ・メール・SNSなどの利用状況や特性について最新情報を集め、指導に生かしましょう
- ・見ず知らずの人とメール・SNSなどのやり取りをすることは、危険につながることを理解させましょう

### ●家庭では次のような取組を進めましょう

- ・メール・SNSなどとの関わり方について、子どもと一緒にルールを作り、守らせましょう
- ・メール・SNSなどと正しく関わる見本を大人が示しましょう
- ・子どものパソコンやゲーム機、携帯・スマホなどの使用状況について把握し、家庭の話題にしましょう

※本調査の詳細は、長崎県教育センターWebページに掲載しています。

県教育委員会は、小学校（低・中・高学年用）・中学校・高等学校用の「情報モラル教育教材『SNSノート・ながさき』」を作成し、次年度から本教材を活用して、情報モラル教育の充実を図ります。





# 特別支援学校における文化芸術活動について

県内の特別支援学校では、児童生徒の実態や興味関心に合わせて、様々な文化芸術活動に積極的に取り組んでいます。

児童生徒が、授業や部活動の時間に制作・練習したことを、校内はもとより、校外でも発表しています。

今回は、いくつかの活動の様子をご紹介します。



## 美術活動



年に1回開催される、長崎県特別支援学校高等部生徒作品展（愛称「ココロモノとアート展」）では、県内全ての特別支援学校高等部の生徒が制作した絵画、工芸、手芸、工作、書、作業作品などを展示しています。



▲作品名「コックピット」  
作品名「宇宙迷路」▶

他にも、全国特別支援学校文化祭、長崎県美術展覧会（県展）、長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】（高美展）、長崎県小・中学校児童生徒美術作品展（子ども県展）等、様々な場で、力作を披露しています。

## 音楽活動



和太鼓部のある学校では、地域のイベントや、老人ホーム等の施設に招かれて演奏をしています。「聴いてくれる人に喜んでほしい」と、日々の練習にも熱心に取り組んでおり、長崎県高等学校総合文化祭【郷土芸能部門】にも出場し、他校の生徒と切磋琢磨しながら、練習の成果を発揮しています。音楽サークルのある学校では、合唱や音楽鑑賞などを楽しみ、余暇の時間を豊かに過ごせるような活動に取り組んでいます。

## ダンス活動



ダンス部のある学校では、「YOSAKOI せせば祭り」に15年連続で出場を果たしており、個性豊かな生徒たちが元気いっぱい踊る姿に、毎年、観客から拍手や声援が沸き起ります。生徒たちは、ダンスを通して、身体を動かす楽しさを味わい、仲間や他チームとの交流を深めています。

問い合わせ：県教育庁特別支援教育課 TEL095-894-3402

# ミライ on に決まりました

## 長崎県立・大村市立一体型図書館及び大村市歴史資料館（仮称）の施設愛称

### 最優秀賞

愛称「ミライ on（ミライオン）」（考案者：長崎県対馬市 西尾 清人さん）  
愛称の説明・意味

「未来（ミライ）」と「ON（on）」の単語を足し合わせた造語。現在や過去の多くのことを知ることで、未来の自分のためのスイッチをONにできる場所になってほしいという願いが込められています。

### 優秀賞

「アイシップ」（長崎県大村市 吉田 早百合さん）  
「USCOME（アスカム）」（埼玉県本庄市 福島 進也さん）

※長崎県立・大村市立一体型図書館の愛称は、「ミライ on 図書館」となります。

### 問い合わせ

県教育庁生涯学習課 新県立図書館整備室  
TEL 095-894-3367



2019年11月末頃開館予定

## ご応募ありがとうございました

多くの県民市民の皆さまに親しみを持って利用していただける施設となるよう愛称を募集したところ、全国から1,507作品のご応募をいただき、有識者を含めた選考委員会の選考により決定しました。

平成30年度

# 親子読書の集い in 対馬

～親子で本の楽しさを体験してみませんか？～

入場無料  
要申込み

問い合わせ／県教育庁生涯学習課 県民学習推進班  
TEL 095-894-3365  
当日の問い合わせ／対馬市立つしま図書館  
TEL 0920-52-3900

日時

平成30年10月27日 土

13:15～15:40（受付開始：12:30～）

場所

対馬市交流センター3階（厳原地区公民館）

対馬市厳原町今屋敷661-3

内容

第1部

おはなし広場

（地元ボランティアによる読み聞かせ等）

13:15～14:00

第2部

絵本ライブ

（講師：宮西 達也 氏（絵本作家））

14:10～15:40



宮西 達也 氏  
（絵本作家）



「おまえうまそうだな」  
ポプラ社



「おとうさんはウルトラマン」  
学研

### 講師プロフィール

平成11年度 第8回けんぶち絵本の里大賞を受賞。平成11年度 第30回講談社出版文化賞・絵本賞を受賞。その他受賞作多数。代表作に「おとうさんはウルトラマン」など。「長崎県の子供にすすめる本500選」に「おれはティラノサウルスだ」「きみはほんとうにステキだね」「おまえうまそうだな」が選定され、長崎県の多くの子供たちに親しまれている。「おまえうまそうだな」は映画化もされた。

詳しくはWebで

長崎県子ども読書活動

検索



ながさき県民大学連携講座 Web申込み